



2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年10月9日

上場会社名 株式会社カンセキ 上場取引所 東
 コード番号 9903 URL <https://www.kanseki.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 大田垣 一郎
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員（氏名） 熊澤 達郎（TEL）028-659-3112
 半期報告書提出予定日 2025年10月10日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	17,565	△3.2	280	10.7	243	12.6	211	0.2
2025年2月期中間期	18,139	1.1	253	—	215	—	211	—
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年2月期中間期	28.42		28.19					
2025年2月期中間期	28.38		28.19					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期中間期	24,412	6,346	25.7
2025年2月期	24,276	6,163	25.1

（参考）自己資本 2026年2月期中間期 6,273百万円 2025年2月期 6,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2026年2月期	—	0.00			
2026年2月期（予想）			—	20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	1.2	550	2.1	250	△47.6	150	△71.1	20.12

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年2月期中間期	8,050,000株	2025年2月期	8,050,000株
2026年2月期中間期	593,922株	2025年2月期	593,922株
2026年2月期中間期	7,456,078株	2025年2月期中間期	7,456,078株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間(2025年3月1日から8月31日)における我が国経済は、コト消費を中心とするインバウンド需要の拡大や雇用・所得環境の改善が見られる一方、物価高や為替変動による家計への影響、そしてトランプ関税に起因する外需の不確実性など、不透明な状況が継続しております。

こうした状況のもと、当社は「住まいと暮らしを豊かにするための商品とサービスを提供し、地域の皆様の生活文化の向上に貢献する生活快適創造」というミッションに基づき、各種取り組みを実施してまいりました。

当中間会計期間においても、前事業年度から引き続き、「すまいるサービス」を通じた高齢者世帯への支援サポート、職場体験機会の提供や植木の維持管理など、地域密着の取り組みを継続いたしました。

営業面では、業務スーパーにおける値ごろ感のある商品が、物価高に伴う節約志向の高まりを背景に、引き続き堅調な売上を維持いたしました。一方で、当中間会計期間は天候不順の影響を大きく受けました。3月下旬から5月下旬にかけての関東地方における10週連続の週末降雨、および6月から8月にかけての記録的な猛暑により、来店客数が落ち込みました。これにより、日用消耗品、キャンプ用品、釣り具、ペット用品といったカテゴリの販売に悪影響が及びました。

経費面では、業務プロセスの見直し(効率化・標準化・マニュアル化)を通じた人件費の最適化、費用対効果を見据えた販売促進策の実施、在庫圧縮による物流倉庫の効率的運用など、各種経費削減策を継続して実施いたしました。

設備面では、2025年3月に「業務スーパーゆいの杜店(栃木県宇都宮市)」をオープンし、さらに8月に新フランチャイズ事業としてスポーツジム「Life Fitカンセキ真岡店」を開業いたしました。

これらの結果、当中間会計期間の売上高は、175億65百万円(前年同期比3.2%減)、営業利益は、2億80百万円(前年同期比10.7%増)、経常利益は、2億43百万円(前年同期比12.6%増)、中間純利益は、2億11百万円(前年同期比0.2%増)となりました。

なお、当社の報告セグメント事業別業績は次の通りです。

[ホームセンター事業]

ホームセンター事業においては、長期化する猛暑期間を想定した夏物商材の拡販や、MDを変更した切り花など、一部の商品では販売施策の効果が見られました。また、人件費管理の徹底や販売促進コストの見直しなど、経費削減にも取り組みました。しかしながら、節約志向の高まりによる買い控えに加え、降雨や猛暑などの天候不順による来店客数の減少が売上高に影響いたしました。

これらの結果、ホームセンター事業の営業収益は、74億30百万円(前年同期比6.9%減)、セグメント利益は、2億1百万円(前年同期比2.6%増)となりました。

[WILD-1事業]

WILD-1事業は新たな取り組みとして、郡山店を含む3店舗にFoxfireストアをオープンいたしました。また、釣りやキャンプなどのイベントも開催し、多くのお客様にご参加いただきました。商品面では、保冷ボトルなどの猛暑対策商品や熊鈴などの熊よけ関連商品が好調でした。一方で、記録的な猛暑により外出機会が減り、キャンプやトレッキング関連商品の売上は伸び悩みました。経費面では、人件費や宣伝費の削減、在庫圧縮などの経費削減策を継続いたしました。

これらの結果、WILD-1事業の営業収益は、41億44百万円(前年同期比8.2%減)、セグメント損失は、1百万円(前年同期はセグメント損失29百万円)となりました。

[専門店事業]

業務スーパー店舗では、節約志向の高まりを背景に値ごろ感のある商品の売上が好調に推移し、新店効果も加わり、売上高は前年同期実績を上回りました。しかし、新店出店に伴う人件費を含む販管費が増加した結果、営業損益は前年同期実績を下回りました。なお、2025年3月にオープンした「業務スーパーゆいの杜店」は、計画を上回る好調な推移となっております。

オフハウス店舗では、猛暑による買取点数の減少や金相場の上昇一服、さらに店舗閉鎖の影響もあり、売上高・利益ともに前年同期実績を下回りました。

これらの結果、専門店事業の営業収益は、60億58百万円(前年同期比6.0%増)、セグメント利益は、4億62百万円(前年同期比5.1%減)となりました。

[店舗開発事業]

店舗開発事業は、不動産賃貸収入が堅調に推移いたしました。しかし、アミューズメント施設収入は、近隣への競合店出店の影響が続いたため、前年同期実績を下回る結果となりました。

これらの結果、店舗開発事業の営業収益は、1億74百万円(前年同期比2.6%減)、セグメント利益は、64百万円(前年同期比8.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間末における総資産は、244億12百万円となり、前事業年度末に比べ1億36百万円の増加となりました。主な要因としては、現金及び預金の増加1億72百万円、商品の増加1億20百万円、有形固定資産の増加2億85百万円に対し、未収入金等の減少4億56百万円によるものであります。

負債は、180億66百万円となり、前事業年度末に比べ46百万円の減少となりました。主な要因としては、買掛金の減少1億71百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少6億53百万円、社債の減少5億円、長期借入金の減少1億12百万円に対し、短期借入金の増加9億40百万円、1年内償還予定の社債の増加4億50百万円によるものであります。

純資産は、63億46百万円となり、前事業年度末に比べ1億82百万円の増加となりました。主な要因としては、その他有価証券評価差額金の増加39百万円、当中間会計期間において中間純利益2億11百万円の計上に対し、配当金の支払による利益剰余金の減少74百万円によるものであります。この結果、当中間会計期間末における自己資本比率は25.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の業績予想につきましては、2025年4月10日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当中間会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	812,445	985,225
売掛金	858,718	874,206
商品	6,461,929	6,582,135
貯蔵品	16,851	17,021
その他	809,852	353,099
貸倒引当金	△61	△83
流動資産合計	8,959,735	8,811,603
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,552,971	2,665,363
土地	7,204,479	7,204,479
その他(純額)	727,455	900,226
有形固定資産合計	10,484,906	10,770,069
無形固定資産	411,642	430,050
投資その他の資産		
投資有価証券	2,566,309	2,644,296
敷金及び保証金	1,779,899	1,687,666
その他	68,617	65,830
投資その他の資産合計	4,414,826	4,397,794
固定資産合計	15,311,376	15,597,914
繰延資産	5,623	3,241
資産合計	24,276,735	24,412,759
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,645,923	2,474,097
電子記録債務	1,161,034	1,171,555
短期借入金	4,250,000	5,190,000
1年内返済予定の長期借入金	5,264,434	4,610,444
1年内償還予定の社債	100,000	550,000
未払法人税等	68,426	80,182
ポイント引当金	4,442	-
契約負債	424,271	450,699
その他	823,963	752,157
流動負債合計	14,742,496	15,279,137
固定負債		
社債	500,000	-
長期借入金	1,605,210	1,492,648
退職給付引当金	473,617	453,541
資産除去債務	297,702	316,263
その他	493,981	524,493
固定負債合計	3,370,510	2,786,946
負債合計	18,113,007	18,066,083

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当中間会計期間 (2025年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,926,000	1,926,000
資本剰余金	2,448,680	2,448,680
利益剰余金	1,054,351	1,191,700
自己株式	△389,287	△389,287
株主資本合計	5,039,743	5,177,093
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,057,641	1,096,776
評価・換算差額等合計	1,057,641	1,096,776
新株予約権	66,343	72,806
純資産合計	6,163,728	6,346,676
負債純資産合計	24,276,735	24,412,759

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上高	18,139,883	17,565,714
売上原価	13,219,114	12,791,567
売上総利益	4,920,768	4,774,147
営業収入	251,962	245,281
営業総利益	5,172,731	5,019,428
販売費及び一般管理費	4,919,252	4,738,833
営業利益	253,478	280,594
営業外収益		
受取利息及び配当金	28,043	35,812
補助金収入	7,835	11,969
受取保険金	1,974	1,333
その他	4,323	3,868
営業外収益合計	42,177	52,984
営業外費用		
支払利息	58,834	82,190
支払手数料	17,769	6,781
その他	3,294	1,591
営業外費用合計	79,898	90,563
経常利益	215,758	243,016
特別利益		
固定資産売却益	369	-
特別利益合計	369	-
特別損失		
固定資産除却損	2,018	752
特別損失合計	2,018	752
税引前中間純利益	214,109	242,263
法人税、住民税及び事業税	17,796	40,629
法人税等調整額	△15,256	△10,275
法人税等合計	2,540	30,353
中間純利益	211,569	211,910

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	214,109	242,263
減価償却費	233,921	218,712
支払利息	58,834	82,190
固定資産除売却損益(△は益)	1,648	752
補助金収入	△7,835	△11,969
棚卸資産の増減額(△は増加)	326,547	△120,375
前渡金の増減額(△は増加)	7,543	△6,671
売上債権の増減額(△は増加)	△99,074	△15,487
仕入債務の増減額(△は減少)	110,392	△161,305
未払消費税等の増減額(△は減少)	145,899	△190,235
契約負債の増減額(△は減少)	49,862	26,428
その他	73,923	57,791
小計	1,115,772	122,095
利息及び配当金の受取額	28,043	35,812
利息の支払額	△57,097	△80,525
補助金の受取額	6,352	11,969
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	224,303	△27,753
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,317,376	61,599
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△405,618	△416,287
有形固定資産の売却による収入	32,269	-
無形固定資産の取得による支出	△24,922	△43,910
投資有価証券の取得による支出	△1,032	△1,100
投資有価証券の売却による収入	-	487,494
敷金及び保証金の差入による支出	△14,821	△6,171
敷金及び保証金の回収による収入	25,476	97,860
預り保証金の返還による支出	△1,580	△1,380
その他	△12,646	△3,170
投資活動によるキャッシュ・フロー	△402,875	113,334
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	320,000	940,000
長期借入れによる収入	500,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△1,229,401	△1,066,552
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
その他	△89,640	△125,454
財務活動によるキャッシュ・フロー	△549,041	△2,006
現金及び現金同等物に係る換算差額	△84	△147
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	365,374	172,779
現金及び現金同等物の期首残高	746,485	810,445
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,111,860	983,225

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間 損益計算書 計上額 (注)3
	ホームセンター	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	7,977,574	4,515,427	5,716,033	178,998	18,388,033	3,811	18,391,845	—	18,391,845
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,977,574	4,515,427	5,716,033	178,998	18,388,033	3,811	18,391,845	—	18,391,845
セグメント利益 又は損失(△)	196,543	△29,935	487,514	70,556	724,679	3,811	728,491	△475,012	253,478

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない不動産事業等に伴い発生した付随的な収益であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△475,012千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△475,012千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間 損益計算書 計上額 (注)3
	ホームセンター	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	7,430,483	4,144,318	6,058,257	174,384	17,807,444	3,551	17,810,995	—	17,810,995
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,430,483	4,144,318	6,058,257	174,384	17,807,444	3,551	17,810,995	—	17,810,995
セグメント利益 又は損失(△)	201,595	△1,020	462,719	64,465	727,760	3,551	731,311	△450,716	280,594

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない不動産事業等に伴い発生した付随的な収益であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△450,716千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△450,716千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。